



教職員の時間外勤務縮減に向けて

① 「教育職員の時間外勤務縮減に向けた管理職員による取組について(通知)」について

道教委は、「時間外勤務縮減は、必ずしも成果が上がっているとはいえない状況」として、各市町村教委宛に、4月17日付で、上記の通知を出しました。

昨年の道人事委員会の勧告・報告で「恒常的な長時間の時間外勤務の縮減に向けて、管理職員の業務管理のあり方を見直すことや、管理職員の意識改革を促すなどの取組が必要」とされたことを受けてのことです。

通知によると、道立学校については、下記のような取組がなされています。

●道立学校での取組

- ・時間外勤務についての「時間記録表」や学校職員評価の職員との面談の活用などにより、職員の健康管理や業務の平準化、効率化、校務分掌の見直しなど業務処理体制の改善に努める。
- ・「自己目標シート《校長》」に時間外勤務縮減の取組状況を評価し、教育指導監や教育局長による学校経営訪問の際に聴取する。

通知では、各市町村教委でも、道立学校での取組を参考に取り組むこととなっています。「時間記録表」は、持ち帰り残業も記録することになっています。

これは、蔓延する時間外勤務を見つめ直し、働きやすい学校づくりをより進めるきっかけともなります。時間外勤務縮減のための取り組みを、校長と（または職員会議で）確認し、働きやすい学校づくりのための議論を進めましょう。

② 勤務時間の割り振り変更の拡大

4月より、朝の交通安全街頭指導、祭典等校区内巡視、特支学校の実習引率業務も割り振り変更の対象業務となっています。15分または1時間単位で割り振り可能です。

市町村立学校は、市町村ごとの「学校管理規定」を改定しなければならないので、遅れているところがあるかもしれません。校長に確認しましょう。

ゆきとどいた教育のために～署名に取り組みましょう

えがお署名（2016年度政府予算に向けた文科省概算要求に対する要請署名）

- ・上半期の重点として取り組みましょう！ 職場+α（地域の商店、保護者など）を。
- ・しめ切りは、7月10日(金)です。 ・ポスターは、掲示しやすいよう、小さくなりました。

障害児学校の「設置基準」策定を求める署名

- ・全国の目標～10万筆 ・集約は、7月上旬です。

※署名記入状の注意～請願署名は、無効が増えています。

- ・氏名はフルネーム ・住所は番地まで書く ・「//」はだめ ・コピーやFAXもだめ

お花見会には、3つの組織から15名が参加

5月23日は、組織部・青年部主催のお花見会でした。勤医労（1名）福祉保育労（4名）と合同で、計15名が参加しました。未組織者の先生も1名参加しています。

1次会は外で焼肉を中心に、2次会はカラオケ、3次会は事務所といういつものパターンでしたが、23歳が4人もいてなかなか楽しい雰囲気でした。

昨年と比べると参加者数は少なく、大量に購入したカキも少しもてあましてしまいました。未組織の先生に声をかけたのですが、都合が付かなくて参加できなかったという話も聞いています。私も声をかけましたが、若い先生は、部活や少年団指導のため、土日忙しい先生が多いようです。それでも、機会があるたびに声をかけていくことも、なまかを広げていく上で、大切にしていきたいですね。



改憲への動きが進む中、 憲法を学ぶ集会に多くの先生が参加

5月3日には、「憲法を破壊する『戦争立法』を許さない!!憲法施行68周年釧路大会」がありました。講師は、白糖での連続講座にもお招きした神保弁護士でした。憲法について、歴史をふまえ、大変分かりやすく学ぶことができました。

5月30日の釧民教5月大会の講演は、足寄高校の山本先生を講師に、憲法出前講座がありました。高校生に指導している実践をもとに、今の情勢とも絡めながら、憲法の基礎から学ぶことができました。

改憲、安倍「教育再生」、戦争立法などの動きに対して、私たちもしっかり学習し、広げていくことが大切だと思います。今後も、集会などについて、お知らせしていきます。

なお、5月3日の憲法集会については、参加費の補助をしています。自分でチケットを購入して参加したという方は、お知らせください。



檜山教職員の集い～笹本先生が講演

5月8日に行われた檜山教職員の集いには、笹本先生（興津小）が講師として招かれ、講演と、その後の「笹本先生に聞く」分科会で、教育観、子ども観を、深く、具体的に、語られました。

内容は、4月の講座でのお話をさらに深めたものでした。「子どもの人生の軌跡に照らして」という言葉の意味、深さに、感動的に学ぶことができました。感想も、その後の交流会の反応も、その内容について大変好意的に受け止められていたことが分かります。

温泉旅館に泊まりがけでの学習会に、参加者は50名を超えていました。交流会は20代の若い先生方が中心となり、大変な盛り上がりでした。

今年の全釧路教組のテーマ「集う」ということが、それだけでも元気になれるのだということ、檜山の集会から改めて感じました。ぜひ、全釧路でも、教研、集会に集いましょう。集まれば、元気が出てきます。

